

# うめ栽培情報 第1号

令和8年3月3日  
J A氷見市  
富山県高岡農林振興センター

## 1 生育概況

開花始めは、3月2日頃（前年-22日、平年-4日）と前年よりかなり早く、平年より早くなりました。ミツバチ等の訪花昆虫の働きが、低温により鈍くなった場合、筆や羽毛などの毛ばたきによる人工授粉を行うなど、結実確保に努めてください。

## 2 今後の病害虫防除

3月中旬頃から4月上中旬頃は、かいよう病の重点防除時期です。下記薬剤で防除を行ってください。最初の伝染源は2年生枝に発病する潜伏越冬枝病斑（写真1）です。病原細菌は伝染源の病斑から雨滴によって飛散します。園地を見回り、感染源の潜伏越冬枝病斑がみられる枝は切除し、園外に持ち出し、適切に処分してください。



写真1 かいよう病の潜伏越冬枝病斑

時 期	対象病害	散布薬剤名	希釈倍数	10a 当 散布量	100 ㎡当 必要薬剤 (g, mL)
3月15日～ 17日頃 (葉芽発芽前まで)	かいよう病	ムッシュボルドーDF※	500倍	200ℓ	200g
4月4～ 6日頃	かいよう病	マイコシールド	1,500倍	200ℓ	66g

※ムッシュボルドーDFは、開花期間中の散布を避け、葉芽発芽前までに散布してください。

## 3 カイガラムシ類対策について

カイガラムシ類（写真2）は、枝、幹等を吸汁加害し、多発すると枝を枯死させることがあります。カイガラムシ類多発樹では、枝幹の虫をワイヤーブラシ等（写真3）で削り落とし、密度を減らしてください。この時、花芽を傷つけないように注意してください。また、部分的にカイガラムシ類が多発している場合、多発生部分を切除し、枝は園外に持ち出して処分してください。



写真2 枝に寄生する  
カイガラムシ類



写真3 ブラシ例  
上：ワイヤーブラシ（真鍮製）  
下：ナイロンブラシ（毛が固く、密度が高いもの）